



since 1926

自分が好き 友だちが好き このまちが好き

横浜市立下野谷小学校

# 学校だより

10月号

令和3年10月4日

## 宿泊体験学習の思い出

校長 高橋義成

令和2年度も新型コロナウイルスの影響があり、残念でしたが、昨年度の4年生は大池宿泊体験学習を日帰りの校外学習に変更いたしました。森を散策したり、かまどで食事をつくったりする予定でした。

また、今年の5年生は台風が近づく中、2泊から1泊に変更して南伊豆臨海学園に行ってきました。長いバスの旅でしたが、いくつかの映画を鑑賞して、時にはゆっくり眠って移動しました。南伊豆は、すでに風が強くなっており、海に向かう農道は折れた枝やたくさんの葉っぱで埋め尽くされていました。明かりの無いトンネルをくぐり、ぬかるんだ道を歩きますが、今の6年生はびくともしませんでした。海に向かう高揚感なのか、荒れた道も遅く前進していきます。体験はカッター訓練だけでしたが、重いオールを何とか動かし、隣の仲間と協力して、24人乗りのカッターボートはぐんぐん進みました。お風呂の時間をずらすため、砂浜で遊ぶ子と、すぐにお風呂に向かう子に分かれて行動しました。残った海グループは、友だちの体を砂で埋めてみたり、水をかけあったりして学校での表情とまた違う笑顔が輝いていました。入浴、食事の準備、部屋でのレク、就寝準備なども一通りスムーズに進みました。

この子たちが4年生の時の大池体験学習にも私は引率として参加しました。当時は、集合するだけで10分以上かかったことや、森の散策からいつまでも戻ってこない子がいたこと、1回のお風呂で男子更衣室から下着忘れが9枚出てきたこと、カレーや焼きそばをつくるのに予定の1.5倍は時間がかかったことなども覚えています。こんな経験が南伊豆での成長した姿につながっているのかもしれない。日帰りになった昨年度の4年生にも同じような経験をさせてあげたかったというのが本音です。

そして今年度、またも新4年生は宿泊をさせてあげられませんでした。代わりに、日帰りでもできるだけ様々な体験ができるようにと校外学習を実施しました。昨年度日帰りとした現5年生は、10月14日(木)～15日(金)に南伊豆へ向かう予定です。この子たちにとって、学校での初めての宿泊体験学習です。子ども達や保護者の皆様にご心配をかけないように、成功させたいと考えています。

また、6年生も11月1日(月)～2日(火)に日光修学旅行を予定しています。自然の中を歩き、世界遺産に触れ、何よりも初めてお土産を買うことが許されます。クラブチームの後輩に買う子、祖父母の方に買う子、短時間であっという間に使い切る子、二つの品物を選別している顔などは真剣そのものです。事前にお土産リストから、所持金内で1円も残さずに使い切れるよう予習をしてくる子もいます。そんな宿題なら言われなくてもやる気が起きることでしょう。それらすべてが貴重な体験であり、学びなのだと思感させられます。皆様のご理解とご協力をいただきながら、より安全に進めてまいります。